

第1回試験（農業土木） 2022年度入庁

西三河農林水産事務所 幡豆農地整備出張所 技師 可児さん

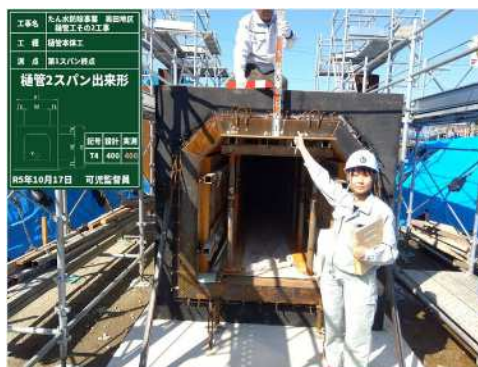
○入庁のきっかけ

大学時代の講義を通じて、農業土木という分野があると知りました。農業が盛んな愛知県で農業を発展させつつ、人命も守る施設を整備したい気持ちが強く、愛知県職員を志望しました。



○業務の内容

新設排水機場の樋管工事を担当しています。排水機場は農地の湛水を防ぐだけでなく、家屋の浸水も防ぐ施設です。農地や人命を守る施設のため責任も大きく、規模も大きいです。その分完成していく過程にやりがいを感じています。また、様々な工種があるため、毎日学びが多いです。



○愛知県庁で働く魅力・やりがい

自らが発注し構造物築造の方針を決めていくため、指示したことが目に見える形でできあがっていく様子を見ると大きな達成感が得られます。また、樋管の中に入ったリ、排水機場や大規模なダムの管理状況の見学等、普段身近にある建築物の裏側を知ることができるのも魅力の一つです。



○皆さんへのメッセージ・アドバイス

困っていることがあれば、上司や先輩職員に気軽に相談できる職場環境です。また、農業土木職として採用されるため、農業土木という分野を専門として業務に携わることができることも魅力です。私たちと一緒に農業土木職員として、愛知県の農業をより発展させるために働きましょう！



(掲載内容は2024年度当時のものです。)